

# 富山県感染症発生動向速報

(2025年第15週分・4月7日～4月13日)

## ■今週の主な動向

○伝染性紅斑の報告数が警報レベルの開始基準値（2.0人/定点）を超えました。

富山県内の患者報告数は、第11週から増加が継続し、今週警報開始基準値（2.0人/定点）を超えました。富山県感染症・疾病対策課は、注意喚起を行っています（[記者発表資料](#)）。

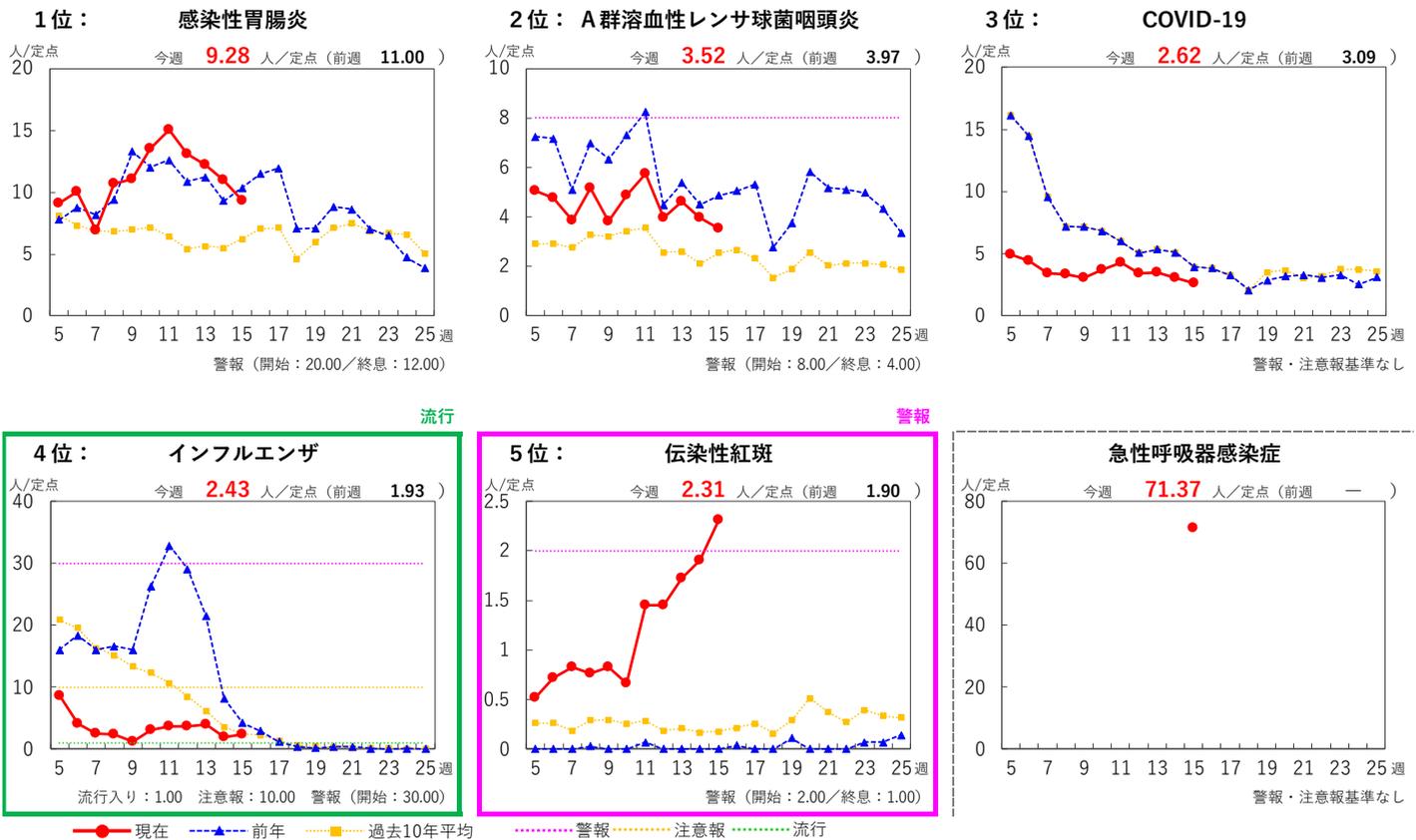
○急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランスが今週から始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者の発生数を把握する症候群サーベイランスです。①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制の整備を目的としています（[急性呼吸器感染症 HP 参照](#)）。

※咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

## ■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患 + 急性呼吸器感染症（第15週・4/7～4/13）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

## ■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 1件（40歳代、男性）
- 四類感染症 A型肝炎 1件（90歳代、女性）
- レジオネラ症 1件（70歳代、男性、肺炎型）
- 五類感染症 アメーバ赤痢 1件（50歳代、男性、腸管アメーバ症）
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2件（①10歳未満、女性 ②90歳代、男性）
- 百日咳 12件（①第12週診断分：10歳代、男性 ②10歳未満、男性 ③10歳未満、女性 ④～⑨全て10歳代、男性 ⑩～⑫全て10歳代、女性）



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





## 風疹に注意しましょう！ ワクチン接種で感染予防

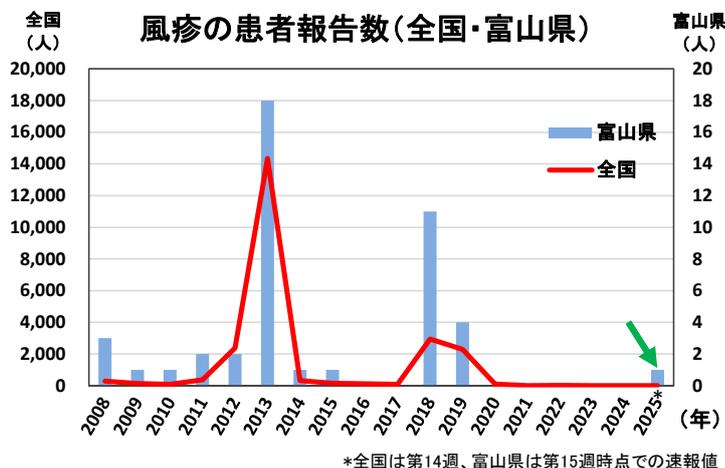
### 《 インフォメーション 》

#### ●風疹（ふうしん）

風疹は2008年から5類感染症として全数把握疾患に位置付けられています。近年では2012～2013年、2018～2019年に、男性主体の15歳以上での国内流行が発生しました。この国内流行は、過去に中学生女子にのみ風しん含有ワクチンを集団接種したことに起因していると考えられています。2020年以降は患者届出数が少なく、年間10例ほどで推移しています。2025年は現在までに全国で5例、このうちの1例は県内の報告でした（図矢印）。県内では2019年以降の報告となりました。

風疹は風疹ウイルスを原因とする感染症です。感染経路は飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。感染すると約2～3週間後に発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。成人が感染すると発熱や発疹の期間が小児に比べて長く、関節痛がひどいことが多いとされています。基本的には予後良好な疾患ですが、高熱の持続や血小板減少性紫斑病、急性脳炎などの合併症により、入院が必要になることがあります。また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染した場合、死産、流産または児に心疾患、難聴、白内障など様々な症状を示す先天性風疹症候群（CRS）をもたらす可能性が高くなります。

風疹およびCRSは、MR（麻しん・風しん）ワクチンで予防することができます。妊娠を希望される方は、妊娠前にあらかじめ2回の予防接種をし、風疹に対する免疫を付けておくことが重要です。妊娠中はMRワクチンの接種を受けられないため、周囲の人が予防接種で免疫を付けて、妊婦を風疹ウイルスの感染から守ることも大切です。また厚生労働省は、2019年度から2024年度末までの期間に、風しん含有ワクチンの接種機会が1度もなかった1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性（第5期接種対象者）を対象とした風疹抗体検査とワクチン接種機会を提供しました。第5期接種対象期間は終了となりましたが、特例措置として、2024年度末までに抗体検査を受検し風疹の抗体が不十分な方のうち、ワクチンの供給の偏在等により接種対象期間内に定期の予防接種を受けられなかったと認められる場合には、2025年4月1日から2027年3月31日までの2年間、特別に風しん含有ワクチンの定期接種の対象として無料で接種を受けることができます。対象となる可能性のある方はお住いの自治体にご確認のうえ積極的なワクチンの接種を行い、風疹、CRSが無い社会を目指しましょう。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第15週 2025年4月7日～2025年4月13日）

分類	疾患	今週報告分（第15週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	1	2		6	4	18	30	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1	1	1		3	4	11	19	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症							1				1	
	四類感染症	E型肝炎								2				2
		A型肝炎		1				1		1	1			2
		レジオネラ症		1				1		1	1		1	3
	五類感染症	アเมอร์バ赤痢			1			1		1			1	2
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								3			5	8
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症								1			4	5
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症								1	1	2	2	6	6	
侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	2	4	3	3	9	19	19	
梅毒								1	2		7	10	10	
百日咳			1	4		6	11		1	11	3	46	61	
風しん											1		1	
急性呼吸器感染症（ARI）定点（46定点）	急性呼吸器感染症（※1）	383	324	1,105	230	1,241	3,283	383	324	1,105	230	1,241	3,283	
		54.71	64.80	85.00	32.86	88.64	71.37							
急性呼吸器感染症（ARI）定点（47定点）	インフルエンザ	21	40	11	14	28	114	876	721	1,629	952	1,765	5,943	
		3.00	8.00	0.85	2.00	1.87	2.43							
	COVID-19	38	8	39	17	21	123	716	298	834	517	679	3,044	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	2	2	1	23	29	16	17	78	33	119	263	
		0.25	0.67	0.25	0.25	2.30	1.00							
	咽頭結膜熱	1		7		3	11	43	11	123	2	30	209	
		0.25		0.88		0.30	0.38							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	11	32	7	47	102	59	120	666	74	910	1,829	
		1.25	3.67	4.00	1.75	4.70	3.52							
	感染性胃腸炎	17	24	67	13	148	269	437	378	815	290	2,239	4,159	
		4.25	8.00	8.38	3.25	14.80	9.28							
	水痘			2	1	5	8	2	8	19	5	70	104	
				0.25	0.25	0.50	0.28							
	手足口病								1	9	1	1	12	
	伝染性紅斑	5	14	32		16	67	16	51	176	2	176	421	
		1.25	4.67	4.00		1.60	2.31							
	突発性発しん		2	7		2	11	2	6	30	9	30	77	
			0.67	0.88		0.20	0.38							
	ヘルパンギーナ				1		1	15				1	17	
				0.25		0.03								
流行性耳下腺炎					2	2		3	1	1	8	13		
					0.20	0.07								
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				9		9			4	47		51	
					9.00		1.29							
	流行性角結膜炎			2			2	1		14	1		16	
				1.00			0.29							
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1	
	マイコプラズマ肺炎			1		2	3	12	3	15	14	4	48	
				1.00		2.00	0.60							
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1			1			3			3	
			1.00			0.20								
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1		1	2	55	20	46	67	50	238	
	COVID-19による入院患者	2		1	1	3	7	68	68	44	100	153	433	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考： <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

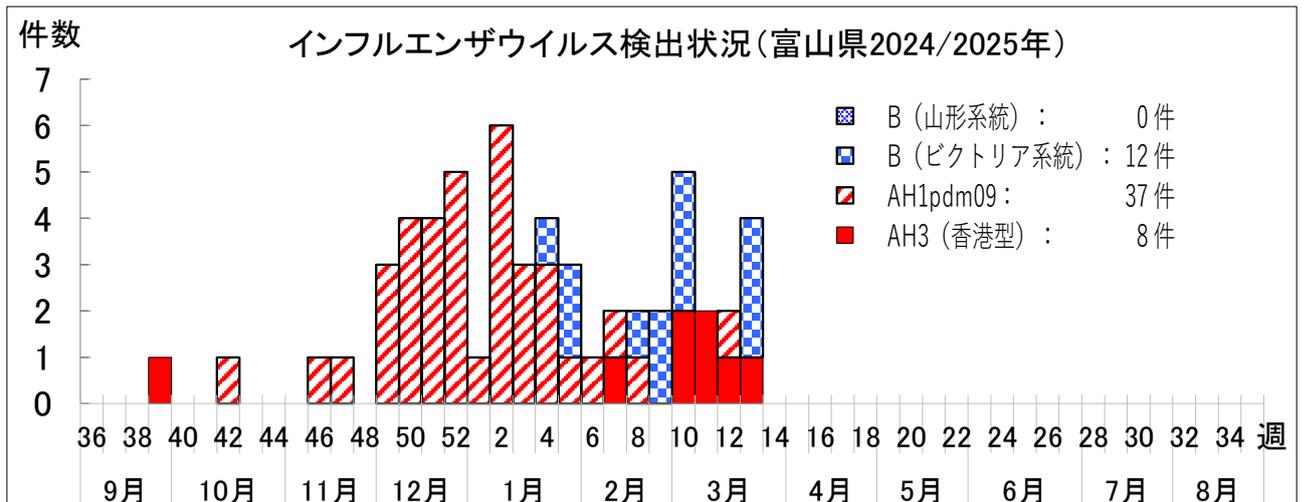
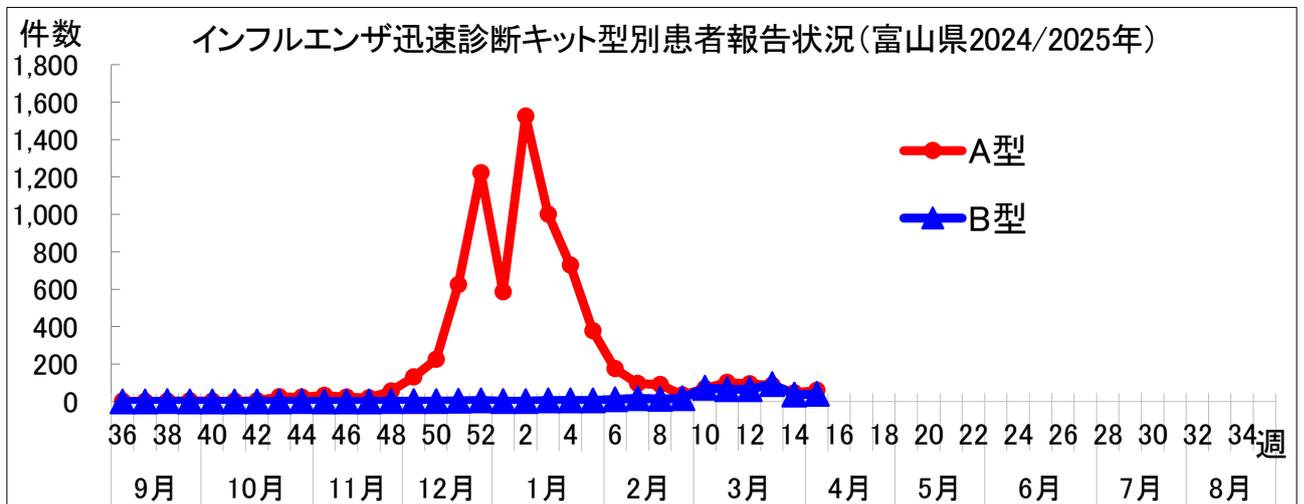
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が52.6%、B型が35.1%となっています。

### 第15週(4/7~4/13)：富山県 2.43人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	4	16	1	21
中部	5 / 5	32	1	7	40
高岡	6 / 13	8	2	1	11
砺波	1 / 7	0	14	0	14
富山市	10 / 15	16	7	5	28
富山県	27 / 47 <sup>※1</sup>	60	40	14	114
富山県累計(2024年36週~)		7,469	467	521	8,457

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が27か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



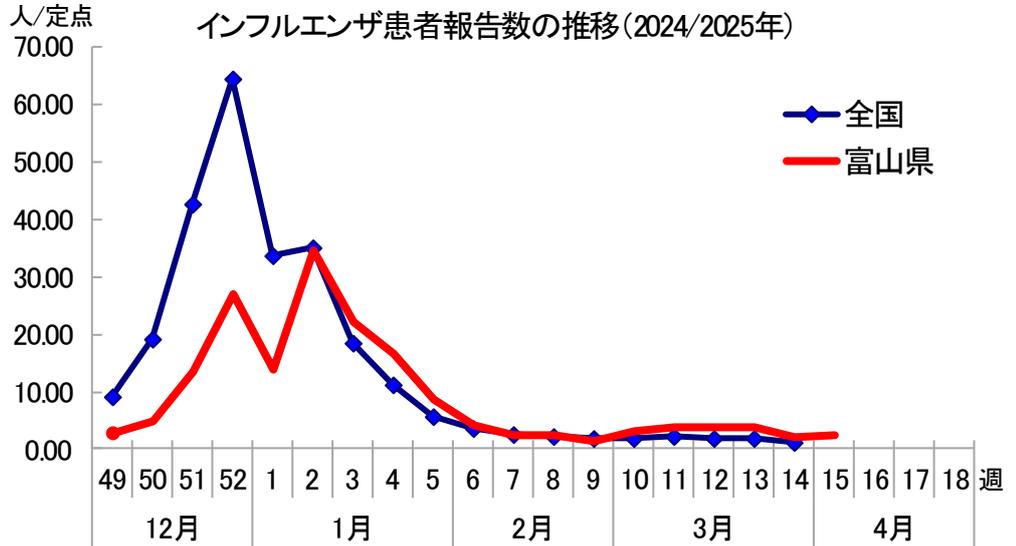


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第15週 (4/7~4/13) : 富山県 2.43 人/定点

新川 HC (3.00)、中部 HC (8.00)、高岡 HC (0.85)、砺波 HC (2.00)、富山市 HC (1.87)

県内の患者報告数は、第15週に2.43人/定点となり、前週(1.93)より増加しました。

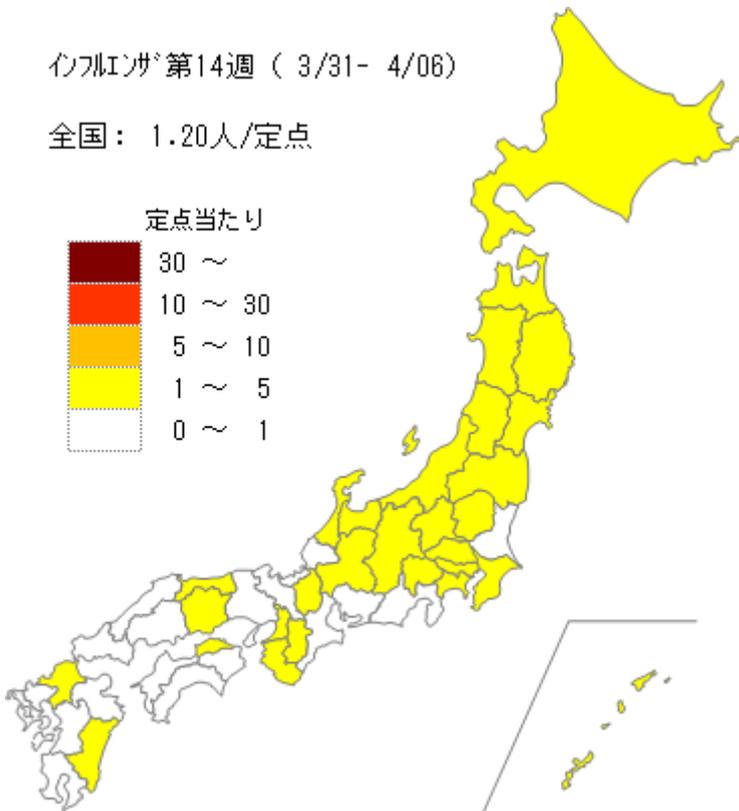


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第14週 (3/31~4/6)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり1.20人となり、前週の1.85人より減少しました。5県で前週より増加しています。42都道府県で前週より減少しています。

インフルが第14週 (3/31- 4/06)

全国：1.20人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.43 ↓	滋賀県	1.47 ↓
青森県	1.95 ↑	京都府	0.56 ↓
岩手県	2.87 ↓	大阪府	1.08 ↓
宮城県	1.49 ↓	兵庫県	0.99 ↓
秋田県	3.79 ↑	奈良県	1.38 ↓
山形県	1.65 ↓	和歌山県	1.13 ↓
福島県	1.56 ↓	鳥取県	1.03 ↓
茨城県	0.63 ↓	島根県	0.53 ↓
栃木県	1.09 ↓	岡山県	1.25 ↓
群馬県	1.51 ↓	広島県	0.71 ↓
埼玉県	1.36 ↓	山口県	0.31 ↓
千葉県	1.10 ↓	徳島県	0.54 ↓
東京都	1.18 ↓	香川県	1.45 ↓
神奈川県	1.02 ↓	愛媛県	0.83 ↓
新潟県	1.81 ↓	高知県	0.70 ↑
富山県	1.93 ↓	福岡県	1.07 ↓
石川県	1.54 ↓	佐賀県	0.74 ↓
福井県	0.95 ↓	長崎県	0.99 ↓
山梨県	1.41 ↓	熊本県	0.73 ↓
長野県	2.65 ↓	大分県	0.79 ↓
岐阜県	1.08 ↑	宮崎県	2.19 ↑
静岡県	0.80 ↓	鹿児島県	0.53 ↓
愛知県	0.92 ↓	沖縄県	2.70 ↓
三重県	0.46 ↓	全国	1.20 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（2025年3月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		3	4			5		13	18
				0.33		0.75	0.40						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1		3	5		3	1		15	19
			1.00	0.33		0.75	0.50						
尖圭コンジローマ					1	3	4				3	5	8
					1.00	0.75	0.40						
淋菌感染症						1	1					4	4
						0.25	0.10						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		4	1	8	15	3	2	8	5	18	36
		2.00		4.00	1.00	8.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。